

第3回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会
議事録

日時：平成23年8月31日 15時～17時

場所：建築会館 305号室

出席者：高田（委員長：横浜国大）、中村（幹事：篠塚研究所）、能島（講演者：岐阜大）、
新谷（福井大）、植竹（東京電力）、大嶋（千代田アドバンスト・ソリューションズ）、
境（ハザマ）、服部（東急建設）、村地（構造計画研究所）、静間（篠塚研究所）（敬称略）計10名

配布資料：1) 境委員（ハザマ）発表スライド
2) 能島先生（岐阜大）発表スライド

内容：話題提供1) 「東日本大震災における工場被害事例と損傷に関する検討」

境委員（ハザマ）より、北関東地域に立地する精密機械工場の東日本大震災による被害事例の報告があった。これらの工場では、工場躯体の被害こそ少ないものの、非構造部材や生産設備、ユーティリティ設備の被害が顕著であったこと、同じ構造形式や同様の設備が同時に被災を受けていることなど、工場被害の特徴として挙げられた。また、後者の機器類の被害に関するについては、簡単なリスク評価モデルを使用した数値シミュレーションにより、リスク評価において、被害相関を考慮することの重要性を確認した。

話題提供2) 「ライフライン等の地震復旧について」

能島先生（岐阜大）より、東日本大震災における電力、都市ガス、上水道、下水道などライフラインの復旧過程に関する詳細な調査の報告があった。東日本大震災では、津波や液状化などにより復旧がかなり滞った地域が多く、各ライフラインの復旧曲線でその影響を確認した。また、上水道は、ある地域で上流の大口径配管の損傷に伴う断水が長期にわたり、ネットワーク構造の脆弱さを指摘した。

今後の予定：次回は11月25日15:00～を予定。

以上